

実施機関・団体名称	20 吉賀町食生活改善推進協議会 柿木支部	
住 所	〒699-5301 鹿足郡吉賀町柿木村柿木500-1	
連 絡 先	TEL 0856-79-2211	FAX 0856-79-2344
E-mail	kshinko@town.yoshika.lg.jp	
担当者 職・氏名	保健師 板垣宏美	
食育体験活動 名称	おやこの食育教室	
目 的	子どもの健康なからだづくりのために「食べ物をえらぶ力」を身につける。 親子と一緒に料理をつくり、料理ができる力を身につける。	
実施年月日	平成25年12月26日	
対象者・人数	対象者 小学1年生～3年生とその保護者	人数 38人
連携した機関・団体の名称	柿木公民館	
内 容	にんじんおにぎり、ハンバーグ、ごろごろサラダ、ひよこまめとキャベツのトマトスープ、ミルクかんを親子で一緒に作り、できた料理をバイキング形式で主食、主菜、副菜、汁物、デザートをえらび、プレートに置いていく。	
実施しての効果 良かったこと	調理も一緒に行い、作ることの難しさや、えらぶ力が身についた。	
課 題	保護者の参加が少ないこと	
感 想 意 見 等	子ども達の料理したい、料理は楽しいという感想が多く聞かれて実施してよかった。	



氏名			性別	女	年齢	9歳
児童・生徒・学生の場合 学校名・学年記載	学校名	柿木小学校			学年	3年生
住所	市町村名	吉賀町				
参加した食育体験活動の名称	親子の食育教室					
参加年月日又は時期	平成25年12月26日					
参加した食に関する 体験活動の内容	にんじんおにぎり、カンタン！ホイルハンバーグ、ごろごろサラダ、ひよこ豆とキャベツのトマトスープ、ミルクかんを料理。出来上がったものはバイキング形式で主食、主菜、副菜を選んでいく。					
感想	<p>わたしは、お母さんと妹と参加をしました。わたしの担当はハンバーグでした。玉ねぎをみじん切りにするところがむずかしかったです。玉ねぎを切っていると涙が出ました。友だちも泣いていました。ハンバーグの形をととのえるのはねんどで工作を作るみたいで楽しかったです。家でもお母さんとお姉ちゃんと妹とハンバーグを作ったことがあります。できあがったハンバーグはとてもやわらかくておいしかったです。おいしかったのでハンバーグのおかわりもしました。</p> <p>妹とお母さんが作ったごろごろサラダもとてもおいしかったです。ひよこまめとキャベツのスープはちょっと残してしまいました。</p> <p>バイキングで選ぶときは食改さんがせつめいしてくれました。いつもバイキングでは自分の好きなものばかりをえらぶので、これからは気をつけてえらんでいきたいと思います。</p> <p>とてもおいしかったので、またお母さんといっしょに作りたいです。</p>					

実施機関・団体名称	21 隠岐の島町食生活改善推進協議会	
住 所	〒685-0015 隠岐の島町港町塩口36-2	
連 絡 先	TEL 08512-2-1312	FAX 08512-2-1312
E-mail		
担当者 職・氏名	会長 松田照美	
食育体験活動 名称	放課後子ども教室	
目 的	(放課後子ども教室) 放課後に子どもたちが安全安心して活動できるよう地域の方々の参画を得て様々な体験・交流活動を支援する (食改) 体験の中で食育5つの力を育てゆく	
実施年月日	平成25年10月17日(木)	
対象者・人数	対象者 西郷小学校児童で放課後子ども教室に登録している児童	人数 58名
連携した機関・団体の名称	隠岐の島町中央公民館	
内 容	<p>①おやつ作り(フルーツポンチ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切る …果物を使っていちよう切り、短ざく、半月ぎりなど切り方の勉強(包丁の持ち方も含めて) ・こねる…白玉粉をこねて思いのままの型にする(船、飛行機、花、ハートなど粘土遊びの感覚) ・ゆでる…自分の作った型がゆがく事によって変化する事を知る ・まぜる…材料をきれいにバランスよくまぜ、盛り付けもきれいに <p>②”朝ごはんを食べよう”の話</p>	
実施しての効果 良かったこと	おやつ作りを楽しみながら食事のマナー、調理の仕方、子ども同士、又大人と子どものコミュニケーションの場として、回を重ねる毎に良くなってきている。	
課 題	放課後子ども教室に登録している児童が対象ではあるが、クッキング教室になると参加者が多く、調理室もせまく(調理器具も少ない)おやつづくり程度しかできないが、回を重ねる毎に家族の話、子ども自身の話をしたり、最近では楽しくにぎやかな教室です。児童数が多いので、実施方法について公民館と調整をしていきたい。	
感 意 見 等	<p>参加した児童の感想</p> <p>2年生 フルーツ白玉は、つくるのもたのしかったです。とくに白玉は、ねって色々なかたちにするので、とてもたのしかったです。わかったのは、みんなでわらいながら食べたりすると、おいしいのがわかりました。</p> <p>2年生 はじめてのクッキングたのしかったです。おかしみたい白玉がおいしかったです。それに、フルーツとてもおいしかったです。いっしょにやった人に、「おいしかったね」っていいたいです。</p> <p>1年生 くっきんぐおてつだいありがとうございました。知らない人ばかりでした。</p>	



実施機関・団体名称	22 JA島根中央会	
住 所	〒690-0887 松江市殿町19-1	
連 絡 先	TEL 0852-31-3513	FAX 0852-32-2065
E-mail	chiiki.jsc@ja-shimane.gr.jp	
担当者 職・氏名	営農地域対策部 橋村祐昭	
食育体験活動 名称	「みんなのよい食プロジェクト」クイズ(パネル展示)	
目 的	「食」や「農」に関する理解醸成のためクイズを実施するとともに、「みんなのよい食プロジェクト」をPRする。	
実施年月日	平成25年10月26日(土)【雲南】、11月10日(日)【美郷町】	
対象者・人数	対象者 しまね食育まつり(雲南、美郷町)来場者 10代~80代	人数(クイズ解答者) 10月26日【雲南】88名 11月10日【美郷町】51名
連携した機関・団体の名称	島根県食育・食の安全推進協議会等	
内 容	<p>《内容》 食や農に関する情報提供とクイズを併記した内容。5問あり、クイズの答えはパネルの情報を読めば分かるというもの。</p> <p>《方法》 ブース内に5枚のパネルを設置。来場者にクイズの回答用紙を配布し、チャレンジしてもらう。その場で回収し、後日事務局にて正解者の中から5名を抽選し、「みんなのよい食プロジェクト」ノベルグッズを贈る。</p> <p>《その他》 JAグループ島根で取り組む「みんなのよい食プロジェクト」に関するノベルティ(チラシ・缶バッジなど)を配布する。</p>	
実施しての効果 良かったこと	クイズ形式にすると楽しく「食」や「農」について学べる等の意見があった。	
課 題	クイズの内容が小学生にはやや難しかった。	

氏名		性別		年齢	
児童・生徒・学生の 場合学校名・学年記載	学校名			学年	
住所	市町村名				
参加した食育体験活動 の名称	しまね食育まつり(雲南、美郷町) 「みんなのよい食プロジェクト」クイズ				
参加年月日又は時期	平成25年10月26日(土)【雲南】、11月10日(日)【美郷町】				
参加した食に関する 体験活動の内容	「食」や「農」に関するクイズ(5問)に挑戦。				
感想	意見(応募様式より抜粋) ・自分が食べているものに関する情報がたくさんあり、勉強になった。 ・理解しているようでわからないことがあった。 ・クイズにすると楽しく学べる。				



実施機関・団体名称	23 JALまね女性組織協議会	
住 所	〒690-0887 松江市殿町19-1	
連 絡 先	TEL 0852-31-3513	FAX 0852-32-2065
E-mail	chiiki.jsc@ja-shimane.gr.jp	
担当者 職・氏名	営農地域対策部 橋村祐昭	
食育体験活動 名称	平成25年度フレッシュミズ交流集会 & 親子ちゃぐりんフェスタ	
目 的	県内で活動するフレッシュミズメンバーの情報交換・相互交流や子どもたちに「食」や「農」に対する理解を深めてもらうことを目的に開催。	
実施年月日	平成25年7月28日(日)	
対象者・人数	対象者 県内のフレッシュミズメンバー親子等	人数 30名
連携した機関・団体の名称	JA島根中央会	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室(肉、魚、牛乳、卵を使わないヴィーガン料理教室)【午前】 ・親子ちゃぐりんフェスタ(親子で草木染め体験、ちゃぐりん食農クイズ等)【午後】 	
実施しての効果良かったこと	親子料理教室やちゃぐりん食農クイズ等を通して、子どもたちに楽しく「食」や「農」に対する理解を深めてもらうことができた。 親(フレッシュミズメンバー)からも、子どもが自分で調理することで、野菜にたくさん触れ、苦手な野菜も食べていた等の感想があり好評だった。	
感 意 見 等	親子で「食」や「農」について学ぶ機会をつくることができよかった。 参加者を増やすためには、子どもだけでなく、親も一緒に楽しめるような内容を考える必要がある。	



氏名		性別		年齢	
児童・生徒・学生の 場合学校名・学年記載	学校名			学年	
住所	市町村名				
参加した食育体験活動 の名称	平成25年度フレッシュミズ交流集会 & 親子ちゃぐりんフェスタ				
参加年月日又は時期	平成25年7月28日(日)				
参加した食に関する 体験活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子料理教室(肉、魚、牛乳、卵を使わないヴィーガン料理教室)【午前】 ・親子ちゃぐりんフェスタ(親子で草木染め体験、ちゃぐりん食農クイズ等)【午後】 				
感想	<p>アンケートより抜粋</p> <p>【子ども】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜のカレーを作って玄米が入っているごはんがとても美味しかったです。それにかけるカレーも美味しかったです。草木染めの葉っぱでハンカチを作って楽しかったです。またこういう体験をしたいです。 ・カレーづくり楽しかったよ。野菜を切ったよ。楽しかったし、きれいだったよ。 ・カレー作りや草木染めがとても楽しかったです。また家でやってみます。 ・今日は良い体験だったと思います。また機会があればやりに来たいです。 <p>【親(フレッシュミズメンバー)】</p> <p>《親子料理教室》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に楽しく作ることができました。おいしくできもりもり食べていました。 ・日常で体験できないことができたので楽しかったです。 ・野菜にたくさん触れることができ、苦手な野菜も食べていました。 ・家ではなかなか手伝いをさせることがなく、良い経験になりました。 <p>《親子ちゃぐりんフェスタ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草木染めは大人も初めての人が多く、とても楽しめていたと思います。 ・子どもも自分で作ることができ体験できて良かった。 				

実施機関・団体名称	24 いずも農業協同組合	
住 所	〒693-8585 出雲市今市町95	
連 絡 先	TEL:0853-21-6288	FAX:0853-21-6005
E-mail	t-tsuchie@jaizumo.or.jp	
担当者 職・氏名	総合企画室 土江俊之	
食育体験活動 名称	JAいずもちびっこ農業交流スクール	
目 的	①農家宅へ泊まり込みで農作業を行い農に関する理解を深める ②収穫から店頭販売までを一貫して体験する事により、生産現場から流通現場までを一体的に学ぶ	
実施年月日	平成25年7月23日、24日	
対象者・人数	対象者 出雲市内小学生	人数 40名
連携した機関・団体の名称	JAいずも女性部、カウベル	
内 容	①農家へのホームステイによる農作業 ②アスパラガスの収穫 ③アスパラガスの袋詰め ④アスパラガスの店頭販売 ⑤牧場体験	
実施しての効果 良かったこと	参加者及びその保護者からも喜びの声を頂いており、農業に対する親しみが深まったように感じています。	
課 題	実施時期を毎年夏休みに合わせており、暑い時期での開催に加えて、慣れないお宅での宿泊になる為、参加者の体調が気になります。	
感 想 意 見 等	農家宅へ宿泊して学ぶ農作業や、生産現場から流通現場までの流れを一体的に学べる場が他に無い事もあり、JAの強みを活かした体験学習を提供できていると考えています。 今後も継続できるよう努めます。	



実施機関・団体名称	25 いわみ中央農業協同組合	
住 所	〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741	
連 絡 先	TEL 0855-22-0202	FAX 0855-23-3184
E-mail	m-maeda@iwc.ja-shimane.gr.jp	
担当者 職・氏名	ふれあい課 課長 前田光子	
食育体験活動 名称	ふれあい農業体験(田植えから収穫まで)	
目 的	食の大切さや農の大切さを考え学ぶ(農業体験を通じて)	
実施年月日	平成25年5月～平成25年12月	
対象者・人数	対象者 JAいわみ中央管内の子供とその家族	人数 延べ人数 300人～500人
連携した機関・団体の名称	JA女性部組織、JA女子大学生、あぐりkids倶楽部	
内 容	<p>稲刈り体験 9月～10月 2会場 収穫祭 12月 1会場</p> <p>どの体験にもJA女性部組織の協力で、作業終了後、白むすびを作っていたいただき、参加者全員で食べました。</p> <p>収穫祭には、収穫した米と、あぐりkids倶楽部が育てたさつまいもを使った料理教室(カレーライス、大学いも)、親子クッキングを実施した。</p>	
実施しての効果 良かったこと	参加者の中でJA女子大生が初めて参加し体験した田植えは、とても楽しかった。でも、「農家のみなさんの大変さが解りました。」と感想をのべてくれました。	
課 題	担当するスタッフ不足	
感 意 見 等	地域の子供たちに食や農の大切さを伝え、感謝する気持ちと育てる為には、この活動はJAにとっても、とても大切な取り組みだと思います。今後も、JA や女性部の出前授業も実施しながら次代へ伝えていきたい。	

氏名			性別	男・ <input checked="" type="radio"/> 女	年齢	9歳
児童・生徒・学生の 場合学校名・学年記載	学校名	江津市立渡津小学校			学年	3年生
住所	市町村名	江津市				
参加した食育体験活動 の名称	ふれあい農業体験(田植え)					
参加年月日又は時期	①平成25年6月1日(土) ②12月15日(日)					
参加した食に関する 体験活動の内容	①昨年も参加した田植え 「きぬむすめ」を手で植えた。 ②収穫祭 親子でクッキング カレーライス、大学いもを作った。					
感想	①田んぼの中に入った瞬間のあの感触が忘れられません。泥の中に足を踏み 入れた時、気持ち悪かったです。みんなで大きな田んぼに入って、一生けん命う えていきました。米づくりって大変だなあと思いました。 ②収穫祭はできたお米が食べられるので、とてもうれしかったです。 カレーがとてもおいしかった。さつまいもとてもおいしかったです。 初めて大学いもを食べました。楽しかったです。 また参加したいです。					

